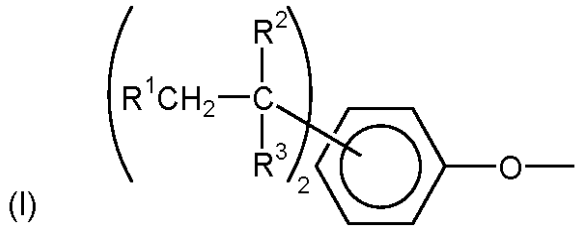
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成19年3月29日(2007.3.29)

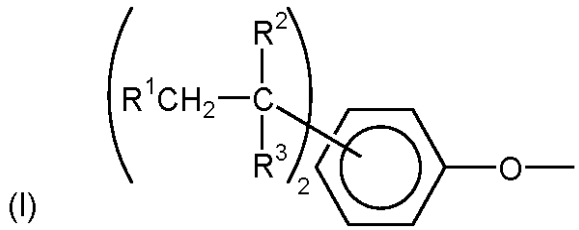
【公表番号】特表2002-537457(P2002-537457A)
【公表日】平成14年11月5日(2002.11.5)
【出願番号】特願2000-601063(P2000-601063)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｇ　64/14　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　1/04　(2006.01)
Ｇ１１Ｂ　7/253　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｇ　64/14
Ｇ０２Ｂ　1/04
Ｇ１１Ｂ　7/24　５２６Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成19年2月1日(2007.2.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　ポリカーボネートの帯電傾向を改質する方法であって、ポリカーボネートを次式の末端基で末端封鎖する工程を含む方法。
【化１】



(I)

式中、各R^1は水素又はC_{1-3}第一級アルキル基であり、R^2及びR^3は各々独立にC_{1-4}第一級アルキル基である。
【請求項２】　ポリカーボネートの成形品の帯電傾向を改質する方法であって、次式の末端基で末端封鎖したポリカーボネートを製造する工程及び該ポリカーボネートを成形品に成形する工程を含む方法。
【化２】

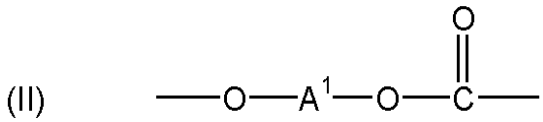


(I)

式中、各R^1は水素又はC_{1-3}第一級アルキル基であり、R^2及びR^3は各々独立にC_{1-4}第一級アルキル基である。
【請求項３】　前記ポリカーボネートが次式の構造単位を含む、請求項１又は請求項２

記載の方法。

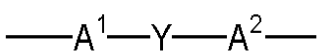
【化３】



式中、A^1基の総数の６０％以上が芳香族有機基で、その残りが脂肪族基、脂環式基又は芳香族基である。

【請求項４】　A^1が次式で表される、請求項３記載の方法。

【化４】



式中、A^2及びA^3は各々単環式二価アリール基であり、ＹはA^2とA^3とを１又は２つの原子で隔てる橋かけ基である。

【請求項５】　A^2及びA^3が各々ｐ－フェニレンで、Ｙがイソプロピリデンである、請求項４記載の方法。

【請求項６】　R^1が水素で、R^2及びR^3が各々メチルである、請求項１乃至請求項５のいずれか１項記載の方法。

【請求項７】　ｔ－アルキル基が３位及び５位にある、請求項６記載の方法。

【請求項８】　前記成形品が光情報記録媒体である、請求項２記載の方法。

【請求項９】　前記成形品が透明な物体である、請求項２記載の方法。

【請求項１０】　前記成形品が自動車前照灯レンズである、請求項２記載の方法。

【請求項１１】　前記ポリカーボネートがビスフェノールＡカーボネート構造単位を含む、請求項１乃至請求項１０のいずれか１項記載の方法。

【請求項１２】　前記末端基が３，５－ジ－ｔ－ブチルフェノキシ末端基である、請求項１乃至請求項１１のいずれか１項記載の方法。